

平成24年度 古市小学校 第6学年「道徳」シラバス

【学習の目標】

道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を培います。特に高学年では、法やきまりの意義を理解すること、相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付けることや集団における役割と責任を果たすことを目標として学習します。

【学習する主な内容】

1 主として自分自身に関すること。

- (1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。
- (2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。
- (3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。
- (4) 誠実に、明るく楽しく生活する。
- (5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。
- (6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。

2 主として他の人とのかかわりに関すること。

- (1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。
- (2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。
- (3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。
- (4) 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。
- (5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。

3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること。

- (1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。
- (2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。
- (3) 美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。

4 主として集団や社会とかかわりに関すること。

- (1) 公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。
- (2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。
- (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。
- (4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。
- (5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。
- (6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。
- (7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。
- (8) 外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。

【保護者の方へ】

子どもたちは、礼儀、感謝、思いやりなど人間生活に必要な基本的な道徳的価値を家庭で身に付け、学校生活の中で社会性や協調性、社会生活上のルールや基本的モラル等、より高度な道徳的価値や道徳的実践力を身に付けていくとされています。学校と家庭が共に補い合い連携しながら一貫した道徳教育を進めていきたいと思っております。

